

0から1を生み出す使命。



OBAYASHI

大林組が建設した東京スカイツリー®

大空にそびえる、その高さは634m。

どのようにしてつくるのか、想像できるだろうか。

建設は、多くの人、ものが結集し、

同じ時を共有するなかで進んでいく。

そこには幾多の喜びがある一方、苦労や困難もある。

私たちが完成を目指し、つくり続ける理由は、

高度な技術と確かな実績によって社会に貢献する使命があるから。

ゼネコン（General Contractor）の使命、

それは空間に新たな価値を生み出すこと。

私たちは今日もこの広い世界を彩る、

新たな1をつくり続けている。



ものづくりの先に、 ものがたりがある。

私たちはこれまでにさまざまなものをつくってきました。

そのうちのひとつが、阪神甲子園球場です。

心に残る名勝負の数々は、この場所で生まれました。

大林組はものづくりの会社ですが、

ものを完成させることだけが

私たちの仕事ではありません。

街のシンボルやインフラとなって、

人々の暮らしや営みを支えながら

そこで生まれる"ものがたり"もつくっています。

私たちはこれから先も、ずっと色褪せることなく、

輝き続ける“ものづくり”を目指していきます。



阪神甲子園球場は
大林組が1924年に建設。
実績についてはこちらから

